

令和 3 年 7 月 1 9 日

会員 各位

日耳鼻埼玉県地方部会会長 菅澤 正
埼玉県耳鼻咽喉科医会会長 登坂 薫

「今後の耳鼻咽喉科学学校健診の在り方」に関するアンケート調査のお願い

標記について、別添のとおり日本耳鼻咽喉科学会及び臨床耳鼻科医会から通知がございました。

つきましては、別添通知に記載されている URL もしくは QR コードから回答ページにアクセスいただき、令和 3 年 8 月 31 日 (火) までにご回答くださいますようお願いいたします。

担 当：事務局 養田
電 話：048-824-2611
FAX：048-822-8515

令和3年7月

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会・日本臨床耳鼻咽喉科医会
会員各位

一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会
理事長 村上 信五
学校保健担当理事 藤岡 治
学校保健委員会委員長 朝比奈 紀彦
一般社団法人日本臨床耳鼻咽喉科医会
会長 福與 和正
学校保健担当理事 大島 清史

「今後の耳鼻咽喉科学校健診の在り方」に関するアンケート調査のお願い

近年の児童生徒を取り巻く環境は複雑多様化し健康課題は大きく変化しており、現在の学校健診が十分に対応できているかどうかの問題が起こっていると思われます。耳鼻咽喉科領域の疾患については、学校保健安全法の前身である学校保健法が制定された昭和33年当時と比べて、慢性中耳炎や慢性副鼻腔炎等の感染症が減少する一方、アレルギー疾患、睡眠障害、心の問題が増加する等の変化があります。また耳鼻咽喉科学校健診の診断においては、耳鼻咽喉科領域の専門性とコミュニケーションが重要視され、軽度中等度難聴児の発見や言語障害児のスクリーニングの重要性等が増しています。

このような現状を踏まえ、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会学校保健委員会および日本臨床耳鼻咽喉科医会学校保健委員会では、現行の耳鼻咽喉科学校健診が時代に即したものであるか否かの問いかけを行うことで耳鼻咽喉科学校健診の諸問題の洗い出しを行い、今後取り組むべき課題を検討する必要があると考えております。

今回、学校医または健診医として耳鼻咽喉科学校健診を担当されている先生方を対象に、「今後の耳鼻咽喉科学校健診の在り方」について検討すべく、学校健診の現状についてアンケート調査を行うことといたしました。現在耳鼻咽喉科学校健診を担当されている先生方からの率直なご意見を伺い、今後の活動の資料にさせていただきたいと考えております。

アンケート調査結果については、令和3年度日耳鼻・臨床耳鼻科医会学校保健全国代表者会議（令和4年1月30日開催予定）において協議する予定です。つきましては、下記のGoogleフォームから、令和3年8月31日（火）までにご回答していただくようお願いいたします。回答時間は10～15分程度です。なお、ご不明な点がございましたら、下記にお問合せください。

<https://forms.gle/krR79ZEGs4XRWR5z8>



＜問い合わせ先＞

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会事務局

学校保健担当 増田

Tel: 03-3443-3085

E-mail: shomu@jibika.or.jp